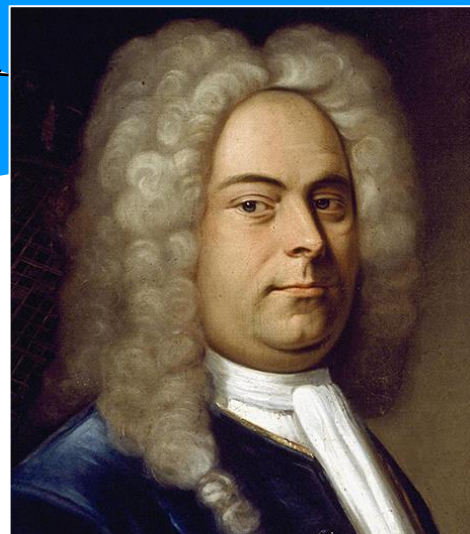


日本ヘンデル協会 《メサイア》を辿ろう！ Vol.8

Sing in Messiah

古楽器とともに

ヘンデルを愛する演奏家・研究者・愛好家による団体「日本ヘンデル協会」の《メサイア》は古楽器演奏のノーカット！普段演奏されない合唱曲もすべて演奏するのだよ。誰でも気軽に参加できるぞ。



音楽監督 原 雅 己
発音指導 三ヶ尻 正

Vn1 大西律子 Vn2 門倉佑希子 Va 中島由布良 Vc 豊原さやか
Tp 平井志郎 Cb 長谷川順子 Tim 村本寛太郎 Cemb 伊藤明子

2023 年 **4** 月 **1** 日 (**土**) **12:30~**
調布市文化会館たづくり・くすのきホール **通し演奏**

◆ 参加者募集中！ ◆

ソリスト（日本ヘンデル協会会員）参加費 3000 円

合唱リード・クワイア=舞台上で歌う>参加費 会員 1000 円、一般 3000 円

客席参加<客席で歌う>・聴講参加費 1000 円（会員・一般とも）

事前練習について 4月1日当日のみの練習（1時間程度）で、事前の練習はありません。

新型コロナ・ウイルス対応

- ・リハーサルはマスク着用でお願いします。
- ・舞台参加者の本番のマスク着用については当日判断します。
- 客席参加者は本番もマスク着用でお願いします。

お申込み・お問合せ handel.kyokai@gmail.com / Tel: 080-3359-7527(もしくは右のQRコードから)



予告！ 2023年7月29日(土) 16:00 オペラ《トロメオ》HWV 25

日本ヘンデル協会 オペラシリーズ Vol.21 東京文化会館 小ホールにて 2023年4月初旬発売開始予定
ご期待下さい。

(Ver. 04Jan2023)

日本ヘンデル協会

http: www.handel-institute-japan.org

日本ヘンデル協会の **メサイア**を通そう！ Vol.8

日本ヘンデル協会の《メサイア》を通そう！は、聴衆も合唱のパートを歌える「シング・イン形式」(舞台上にも合唱団がいるもの)のイベントです。当協会のオペラやオラトリオ**通そう会**は楽曲の全体像を理解することを目的にしている、《メサイア》でも多数あるバージョンの曲をできるだけ多く網羅すること、普段演奏されないパターンのものも歌うこと、ソリスト*は自分のパート以外のパートのソロ曲も歌い合唱にも参加すること、などを目指しています。

オリジナルの A=415、器楽も**古楽器**の合奏です。例年はリード・クワイア希望者に音楽監督の原 雅巳の歌唱指導と、ディクション(歌唱発音)指導者の三ヶ尻 正の言語指導を受けられる事前練習がありますが、新型コロナ・ウイルスの現況を踏まえて当日の稽古のみとします。当日は客席からも舞台上からも見える**字幕**を投影して楽曲内容の理解を深めます。

(ソリストは日本ヘンデル協会会員から選ばれます。)

推薦のことば

●日本ヘンデル協会 会長 金澤 正剛

ヘンデルの《メサイア》は救世主イエス・キリストの復活を祝って作曲されたものであり、ヘンデル自身の公演もそうであるように、本来復活祭に始まる復活節の季節に演奏される習慣となっています。ところで今年の復活節は4月9日なので、それ以後6月の初めにかけてはこの名作を聴く機会、さらには歌う機会があることでしょう。それに備えてこの作品の言葉を正しく理解し、歌うことを全曲通して学んでみてはどうでしょうか。一度歌ってみるだけでも、受け身で聴いているだけとは違い、作品の内部に入り込む経験を身に着けることが出来ます。ぜひ一度経験してみませんか。

●言語指導 講師 三ヶ尻 正

テレビや音楽メディアでは英語があふれていますが、そのほとんどが現代アメリカ英語です。しかし《メサイア》は **17～18 世紀のイギリス英語**。勝手が違います。それにマイクを通して歌うポップスなどでは**話すように歌う**ことで自然な英語に近づけますが、マイクを通さないクラシックの歌唱では、声楽的な発声で歌った上で、しかも客席で聞いたときに**話したのと同じように明瞭に聞こえる発音**が必要になります。リード・クワイアやソリストには、テキストの意味をよりよく伝える英語の歌唱を目指してガイドします。



音楽監督・歌唱指導 原 雅巳(はら まさみ)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院独唱科修了。渡仏。オルレアン・コンセルヴァトワール、ジュネーヴ・コンセルヴァトワールを修了。声楽、室内楽、バロック・ジェスチャー、朗唱法を学ぶ。帰国後、フランス・ルネッサンス、バロック音楽を中心に演奏活動を行い、CD「ふらんすの恋歌」(2005)、ラ・フェート・ギャラントと「バリの悦楽」(2006)をリリースする。また、日本ヘンデル協会においてバロック・ジェスチャーの講師を務め、協会の主催する演奏会の監修およびオペラ公演の演出を行う。これまでにヘンデルのオペラ《リナルド》《セルセ》《アグリッピーナ》《パルテノベ》《フラヴィオ》《テイダミア》《アリオダンテ》等を演出している。



言語指導 三ヶ尻 正(みかじり ただし)

東京大学英文科卒。ヘンデル研究・オラトリオ研究、声楽家の言語指導(英独羅)、対訳・字幕に従事。オペラ・オラトリオの政治史的解釈に関する執筆・講演で好評を博す。言語指導は桐朋学園大学、国立音楽大学大学院、京都市立芸術大学大学院、新国立劇場オペラ研修所等で行い、音声学に根ざした科学的な指導に定評がある。著書・訳書に『メサイアハンドブック』、『ミサ曲・ラテン語・教会音楽ハンドブック』、『ヘンデル創造のダイナミズム』(共訳)など。新著『ヘンデルが駆け抜けた時代～政治・外交・音楽ビジネス』も好評。日本音楽学会、日本ヘンデル協会、日本イタリア古楽協会会員。

調布市文化会館 たづくり・くすのきホール

京王線調布駅下車 中央口徒歩4分
新宿駅から調布は特急で約15分 急行で約25分
(京王線へは都営新宿線からの乗り入れあり)

